



福津市議会議員



石田まなみ

NEWS No.016

討議資料

発行日：2023年11月20日
発行：石田まなみ後援会
福津市東福岡3-2-1
☎0940-72-5188



2023年9月議会
(2023.8.29 ~ 9.21)



子どもの権利に関する条例の制定を求める請願書

2014年に一度議会にて否決されていた子どもの権利条例が、市民の思いを込めた請願として9月議会で提出され、全員賛成で採択されました

発議「地方財政の充実・強化に関する意見書」

提出議員として議会で発言、全員賛成で採択されたので、地方財政への予算を、地方自治体の実情に合わせてしっかり組んでほしいという意見書が、福津市議会から国へ提出されます。

「生理の貧困」対策事業の予算が含まれた補正予算

3月議会で採択された「小中学校と公共施設の女子トイレに生理用品設置を求める請願書（紹介議員：石田まなみ）」の実現に向けた予算です。

公共施設の女子トイレと多目的トイレに生理用品を設置する予算

予算 100,000 円

市内の小中学校の女子トイレに生理用品を設置する予算

予算 857,000 円



福津市中央公民館の女子トイレ

第50回 衆議院選挙社民党公認予定候補者の紹介



福岡1区
村田しゅんいち



福岡4区
そうあきこ



福岡11区
しき玲子

石田も
応援して
います



一般質問①

子どもの権利を守るための
施策について

今年4月からこども基本法が施行されています。その中には、子どもを1人の人間として、いじめや虐待などから守るといった、子どもの人権を守る旨が記載されています。

子どもの人権侵害を救済し、子どもを取り巻く環境を調査し、生きづらさを解消し、子どもが健やかに成長するための手助けをするため、子どもの権利救済機関を設置する自治体もあります。



質問

現在福津市において、
子どもたちのSOSを受けとめる体制は
どうなっていますか

【市の答弁】

就学前児童対象の市の機関については、家庭児童相談室が主な窓口となっています。また子育て世代包括支援課でも、保護者と接しながら情報を集める体制づくりをしていたり、保育園現場からの情報も取りこぼさないように努めています。(こども家庭部)

学校においては、子どもの権利の侵害に気づいた場合には、学校内で解決できるものについては、学校内で解決に動きます。学校内で解決出来ないような権利の侵害については、家庭児童相談室などの相談機関につないでいきます。(教育部)



質問

昨年の相談実績数は？

【市の答弁】

2022年度の相談件数の実績は延べ7,108件です。その中で児童虐待の相談経路については、家族、家族親戚、家族や親戚からが26%、学校などの教育機関からが24%、児童相談所等の県の機関が19%、また子育て世代包括支援センターなどの市の機関が14%、それから警察が8%、また近隣の方や知人からが6%となっています。(こども家庭部)

質問

直接学校などを訪問し、子どもとふれあいながら相談を受けている、宗像市や志免町の「子どもの権利救済機関」では、受ける相談件数の8割が、「子ども本人から」の相談だというデータがありますが、福津市の現状はどのようになっていますか？

【市の答弁】

両自治体の子どもに関する権利や権利救済機関を広く周知したり、活動した結果だろうとみています。福津市でも、家庭児童相談室で子ども自身からも相談を受けることができる、ということを経験して周知していますが、なかなか子ども自身からの相談がないので、改善の必要性は感じています。(こども家庭部)

質問

児童相談所や家庭児童相談員、
スクールソーシャルワーカーや
スクールカウンセラーなど
子どもたちから SOS が出された場合は
早朝や深夜も駆けつけるなど
しているのではないですか？

【市の答弁】

相談員の構成は、正職員、正規職員の任期付の職員、そして会計年度任用職員となっていますが、もし深夜に対応しないといけないというような事態が発生した場合は、職員、もしくは、任期付職員で対応することになり、当然時間外の対応ということになります。(こども家庭部)

スクールカウンセラーについては、学校において、児童生徒の相談を受けるという業務でございますので、基本的に深夜の対応はないものと考えています。

スクールソーシャルワーカーについても、子どもを取り巻く各団体とつなぎながら子どものいろいろな課題に解決をしていくための配置であり、夜間にスクールソーシャルワーカーに連絡がとれるという体制を取っていないので、こちらも基本的な深夜の業務従事はないと考えています。(教育部)



質問

子どもたちの環境の中で
大きな問題と思われるものは？

【市の答弁】

最近の要保護や要支援になるケースではやはり虐待に関するものが多く、大きな問題と思われま。その次に、子どもの発達の悩みと、その子に対する親の関わり方の問題がめだってきています。(こども家庭部)

学校から見える子どもたちを取り巻く環境としては、いじめや虐待などの問題が顕在化していることが大きな問題だと考えます。(教育部)



質問

今後、どのような対応を
考えていますか？

【市の答弁】

子ども自身からの発信を受け止める場所は、学校現場がほとんどなので、その他の方法として、子どもの居場所としての市の施設であるフクスタに相談窓口を設置する、または困り事の発信を受けつける投書箱を設置して門戸を広げる方法などが考えられます。

引き続き有効な方法を模索していきたいと考えております。(こども家庭部)



*9月議会では「子どもの権利条例を制定する請願」が提出されています。今回の一般質問は、その請願の中にも記されている「子どもの権利救済機関の設置」に関わる内容を一般質問で取り上げました。子どもたちが助けてと言いやすい相談体制を、既存の体制に付け加えるなどして充実させていただきたい。

8/28
(月)**福間東中 ボランティア講座**

その他の活動

福間東中では、コロナ以前は地域で中学ボランティア活動をしていましたが、コロナで中止となってしまったので、改めて「ボランティアとはなんだろう」ということを学びたいという生徒会役員の思いに、学校の地域統括コーディネーターとして関わりました。



6月28日に第1回目の会議を開催し、生徒会長自ら3つの郷づくり（神興、神興東、上西郷）へのお願いと呼びかけをして、8月28日開催となりました。地域から参加された方からは、中学生と話ができて楽しかったという感想もいただきました。

9/16
(土)**福間中発！
未来議会コメンテーター**

福間中では、対話の学習の一環として、福津市の課題についてグループで調査研究したものを提案として発表する「福間中発！未来議会」を行っています。今年は、発表のコメンテーターとしてお声がかかり、9月16日の企画書発表会に参加してきました。3年生9つのクラスで、「まちおこし」「産業」「観光」「教育」など9つのテーマごとに発表があり、大人顔負けのプレゼンを聞かせていただきました。各クラスから投票により選ばれた1グループの中から、さらに厳選された4グループは、10月14日の福間中文化祭の午後の部で発表の機会を得ました。中学生のアイデア、ぜひ実現へとつなげたいです。

9/3
(日)**映画「杜人(もりびと)」
上映会@福津**

自然との共生をテーマに、実際に全国の里山再生に関わっている矢野智徳さんのドキュメンタリー映画の上映のお手伝いをしました。

10/7
(土)**社会福祉法人
宗恵福祉会
津屋崎保育園の
運動会の応援**

ゴールにいる先生をめざして、ニコニコ笑顔でかけていく子どもたちの愛らしさや、体をふりふり演技する姿に癒されてきました。年長のマーチングでは、背筋をピンと伸ばしたお兄ちゃん、お姉ちゃんたちの凛々しい姿を見せていただきました。保護者の皆さんとの記念撮影の時間もあり、あたたかい運動会でした。